

(6) フリーターの就職活動における留意点について

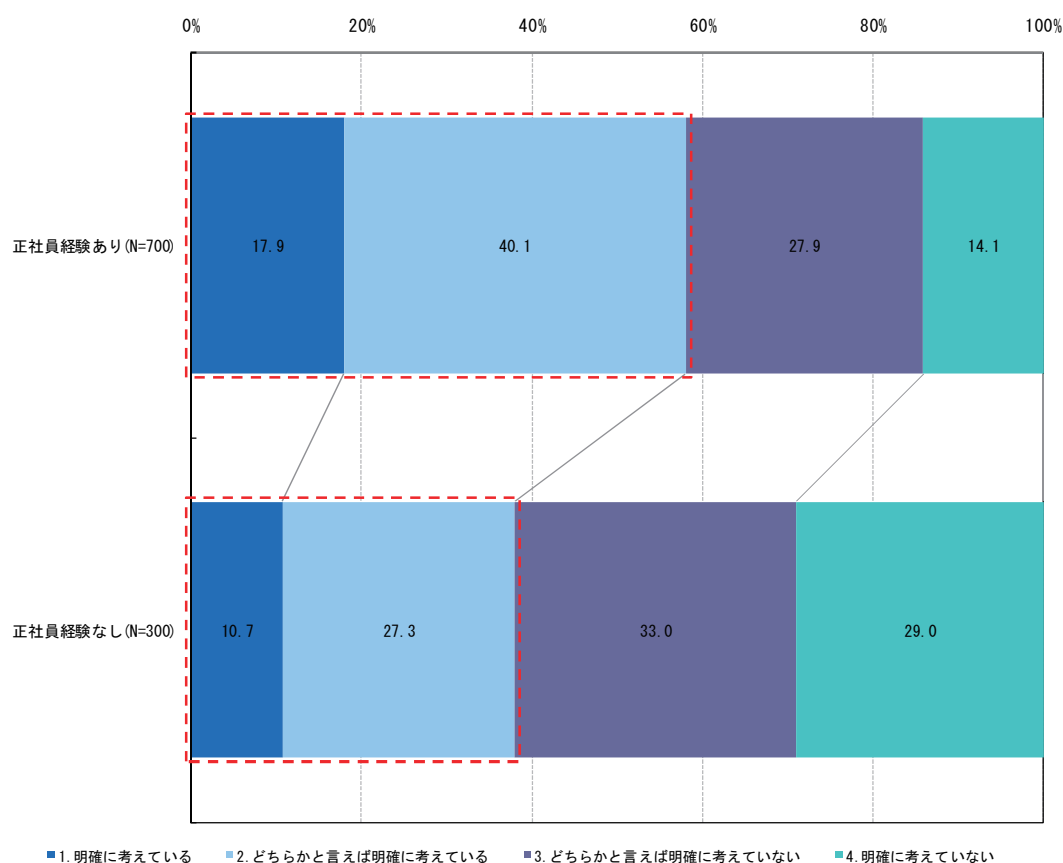
正社員となった人は、まず目標を明確に定めた上で就職活動に取り組んでいる傾向があり、正社員となるには、まずは自分の実現したいことなどをある程度持ってから就職活動を行う方が有効であると考

えられる。またアンケート結果から、実際に就職活動を行う際には、ハローワークが重要な役割を果たしている可能性が示唆される。

ア. 就職・転職活動の方向性の明確化

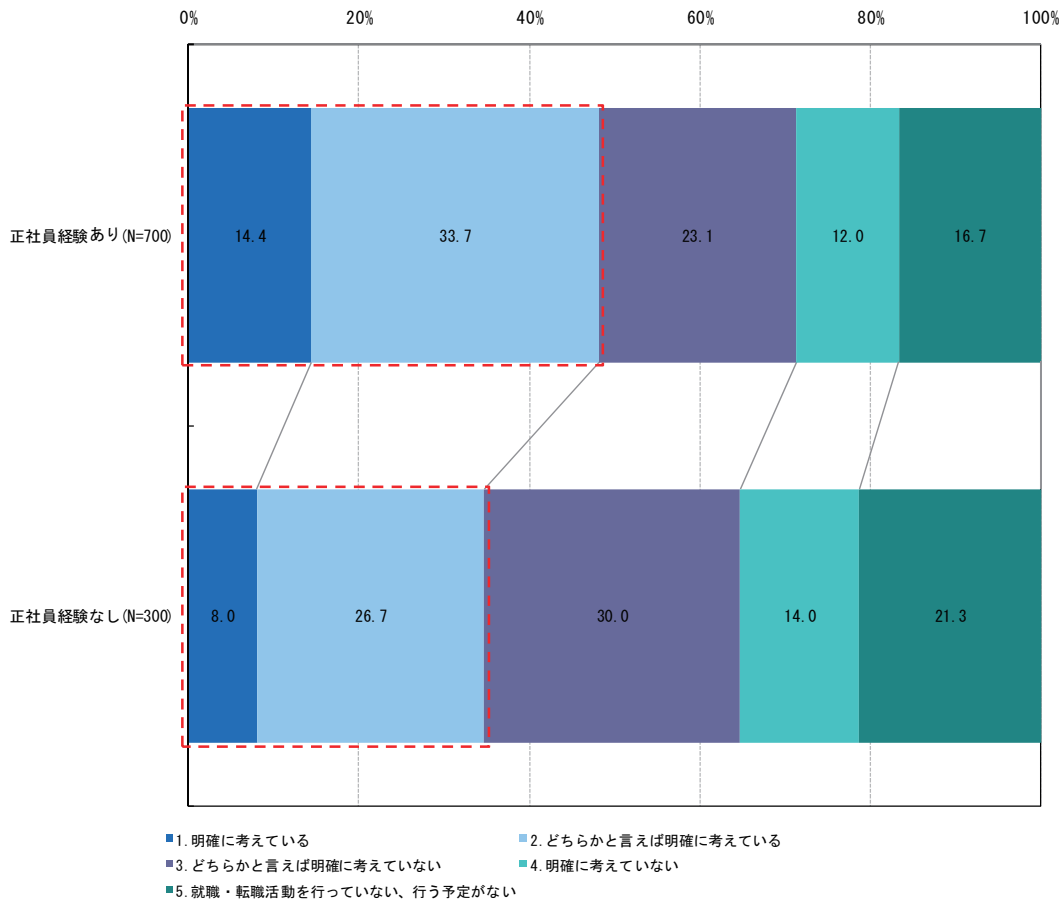
- 仕事を通じて実現したいことを「明確に考えている」と「どちらかと言えば明確に考えている」と回答した割合は、正社員経験がある人は58.0%であるのに対して、正社員経験のない人は38.0%となっている。また、就職・転職活動の方向性を「明確に考えている」と「どちらかと言えば明確に考えている」と回答した割合の合計は、正社員経験がある人は48.1%であるのに対して、正社員経験のない人は34.7%となっている。

図表 19 正社員の経験の有無別の仕事を通じて実現したいことが明確であるか



出所) 「仕事に関するアンケート」

図表 20 正社員の経験の有無別の就職・転職活動の方向性が明確であるか

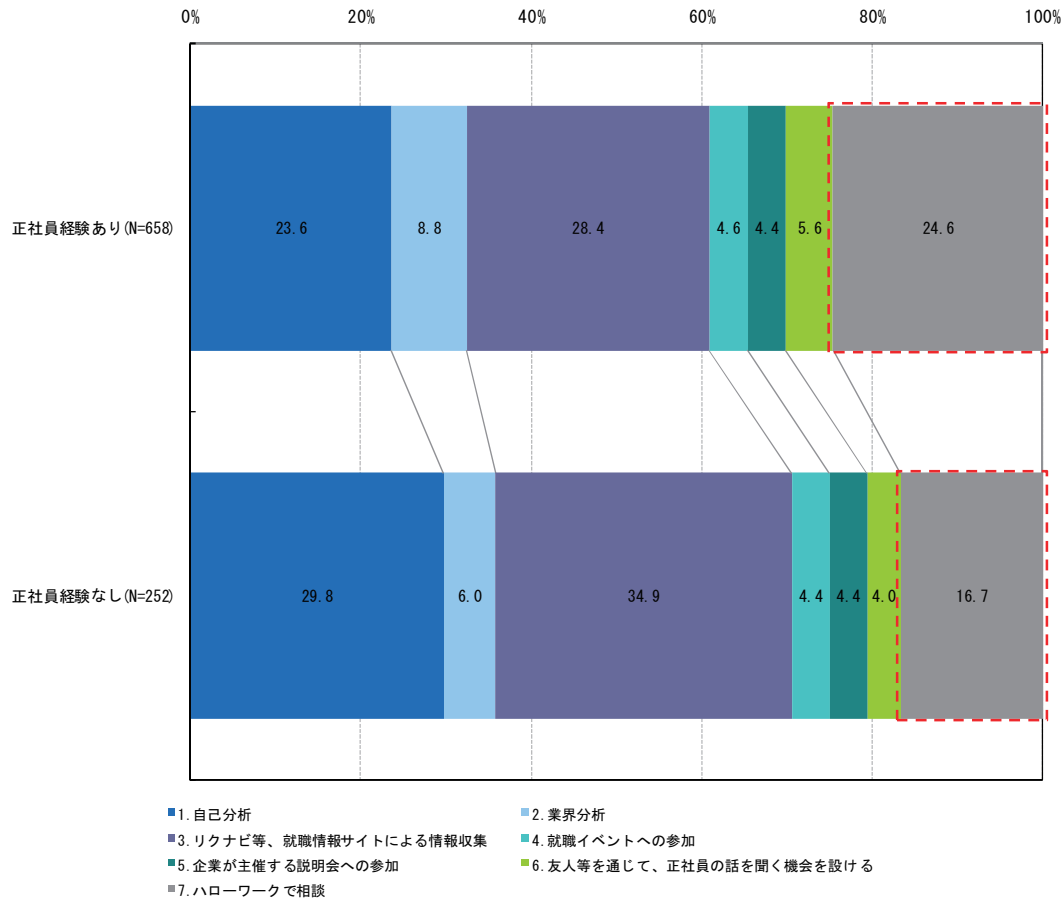


出所) 「仕事に関するアンケート」

イ. 就職・転職活動の際の取組み

- 就職・転職活動の際の取組みについては、正社員経験がある人は、最も時間を費やした活動として「ハローワークでの相談」と回答した割合が24.6%であるのに対して、正社員経験のない人は「ハローワークでの相談」と回答した割合が16.7%となっている。

図表 21 正社員の経験の有無別の就職・転職活動で最も時間を費やした活動



出所) 「仕事に関するアンケート」